聖学院大学総合研究所 心理福祉学研究会・心理福祉学部主催　シンポジウム

人と地域をつなぐ力

－ 能登半島での被災地支援から考える AI時代のソーシャルワーク －

学園祭
（ヴェリタス祭）
同日開催
どなたでも
ご参加いただけます

2026年
10月31日（土）
15時～17時 受付14時半～

聖学院大学 教授会室
（埼玉県上尾市戸崎1-1）

入場無料・要申込

AIは情報をつなぐ。私たちは、人と人、人と地域をつなぐ。

2024年元旦に発生した能登半島地震は、過疎や高齢化などの地域課題を浮き彫りにしました。このシンポジウムでは、被災地での支援活動を手がかりに「つながり」について考えます。

生成AIが普及し、さまざまな仕組みや職業は急激に変化しています。これからの時代、自分や周囲の人の「こころとくらし」をどのように支えたらいいでしょうか。

聖学院大学の学生ボランティアと、本学を卒業後に石川県内で歩み続けるベテランソーシャルワーカー。3名の語りからソーシャルワークの本質、そしてAI時代だからこそ大切にしたい専門職の存在価値をご一緒に考えてみませんか。
どなたでもお気軽にご参加ください。

シンポジスト

竹内 康紘さん
心理福祉学科４年生

学生ボランティア団体
「そよかぜ」代表
社会福祉士を目指す学生

岡安 努さん
人間福祉学科
2003年卒業

社会福祉法人共友会
統括マネージャー
（精神保健福祉士・社会福祉士）

岩尾 貴さん
人間福祉学研究科
2008年修士課程修了

社会福祉法人 長久福祉会
業務執行理事
障害福祉サービス
グループ施設長
（精神保健福祉士）

コーディネーター

田村 綾子

学校法人聖学院理事長／聖学院大学心理福祉学部教授

精神保健福祉士として東日本大震災や能登半島地震の被災者でのこころのケアに専門職ボランティアとして従事。精神科病院や企業の健康支援センターにて、精神疾患やメンタルヘルス問題のある方への支援経験を有し、精神保健福祉士・社会福祉士の養成に携わる。公益社団法人日本精神保健福祉士協会前会長、上尾市地域福祉推進協議会会長など

こんな方におすすめ！

- 心理・福祉・教育分野への進学を考えている高校生・受験生
- 社会福祉士・精神保健福祉士を目指す学生
- 自治体で地域づくりや防災、福祉に携わる職員
- 社会福祉協議会、地域包括支援センター、相談支援機関などの実践者
- 災害支援やボランティア活動に関心のある方　など

特別企画

一般社団法人　埼玉県精神保健福祉士協会
精神保健福祉士によるブースでは･･･

埼玉県内で活躍する精神保健福祉士が、仕事の魅力や資格取得、就職活動に向けたアドバイスを行います！

Love God and Serve His People
聖学院大学

■政治経済学部　政治経済学科
■人文学部　国際文化学科／日本文化学科／子ども教育学科
■心理福祉学部　心理福祉学科

〒362-8585　埼玉県上尾市戸崎1-1　大宮から1駅

問い合わせ：聖学院大学総合研究所　048-725-5524　research@seigakuin-univ.ac.jp

主催：聖学院大学総合研究所 心理福祉学研究会／聖学院大学心理福祉学部

後援：上尾市／埼玉県社会福祉協議会／上尾市社会福祉協議会
さいたま市社会福祉協議会（予定）／一般社団法人埼玉県精神保健福祉士協会
学生ボランティア団体「そよかぜ」／埼玉県立大学川田虎男研究室
ReVA復興ボランティアチーム・上尾

協力：聖学院大学 地域連携・教育センター